

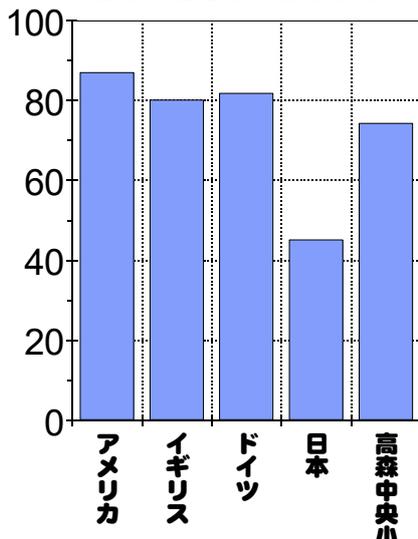


みなみかぜ

令和2年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

自分を好きになろう

自分のことが好きである

外国では、自分のことが好きですと答える若者が8割を超えていて、日本の若者は約4割とかなり低いことから問題だと考えました。(以前紹介させていただいたとおりです。)

「自分のことが好きです。」と自信をもって言える子どもを100%にしたい。そんな思いをもって、各学年・各学級で取り組んでもらいましたが、1月末のアンケート結果の集計・分析が終わりましたのでお知らせしたいと思います。

1月末現在で、**自分のことが好きだと答えた高森中央小の児童の割合は、74.3%**でした。約4人に3人は好きだと答えています。

かなり多くなったのですが、100%からするとまだまだです。以前も書かせてもらいましたが、人にはいろいろないいところがたくさんあります。それに気づいていないこともたくさんあります。

良いところ探しや友達との関わりで感謝したことを伝え合う中で自分を好きになっていく子どもが育っていくと考えました。

左下のグラフは、各学年の自分のことが好きだと答えた児童の割合です。

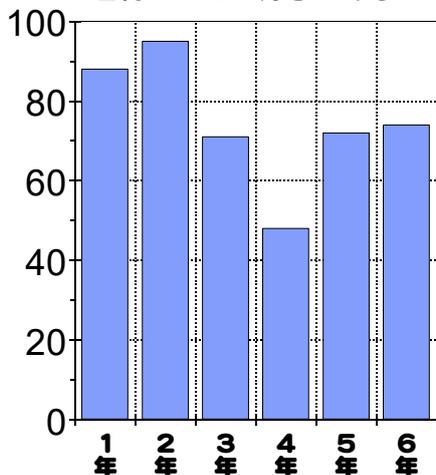
低学年が高く(1年88%、2年95%)、中高学年はほぼ平均と同じですが、4年生は48%と低くなっています。

高い原因、低い原因を自尊感情や自己有用感のデータと合わせて見たり、約3ヶ月の取組による変容を見たりして考えていきたいと思っています。

そして、学校では更に何をしていけばいいのか、家庭ではどんなことに協力してもらえばいいのかなども考えていきたいと思っています。

自分にはよいところがあるや誰かの役に立っているが90%を超えてくるようになると自分を好きだと答える子どもの割合もかなり高くなるようです。

次回は、「自分にはよいところがある」や「自分はだれかの役に立っている」などの結果なども示しながら紹介していこうと思います。お楽しみに。

自分のことが好きである

おすすめの本シリーズ27

- ①本名「霧のむこうのふしぎな町」
 ②対象年齢：3・4年から ③作者：柏葉幸子
 ④絵：杉田比呂美 ⑤212P ⑥出版社：講談社



夏休み、6年生のリナは、一人で旅に出ます。霧の谷の森を抜けると、洋館が立ち並び、きれいでどこか風変わりな町が現れます。1975年より読み継がれているファンタジーの名作です。